

第17号

2024年7月18日 発行

(令和6年)

せしゅうのかい おおぞら かいほう
青松の会 おおぞら 会報



おおぞら



久しぶりの施設開放 「おおぞら祭」！

年度の終わりになりましたが、3月23日(土)におおぞら祭が行われました。利用者の皆さん、家族会・関係者の皆さん、職員一同張り切って準備を進めました。久しぶりの施設開放ということで、名前も「おおぞら祭(さい)」と改め新しく再出発しました。

内容は、利用者の演奏によるオープニングから始まって、フランクフルトや豚汁などの屋台、手作りブラウニーなどの喫茶、マジックショーやミュージックケアなどのイベント、ゲームコーナー、ステンシルワークショップ、自主製品販売など盛りだくさんでした。利用者、家族、関係者、職員、ボランティアが力を合わせて、多くの関係者や地域の方々に「おもてなし」を楽しんでいただきました。

近隣から小さなお子さんを連れて家族も何組か来所して、所内を見学した後、豚汁や焼きそばなどを楽しんでいかれました。

利用者の皆さんから、楽しかったこととして、みんなで歌ったこと、ゲームへ参加したこと、フランクフルトを食べたこと、久しぶりに会えた方がいてうれしかったことなどの感想が寄せられました。

活況の中成功裏に終わることが出来ました。ご協力いただいた方々に感謝いたします。



オープニング



ワークショップ



様々なイベントに参加



ステンシル体験



ゲームコーナー



自主生産販売

バスハイク:楽しかったいちご狩り

令和6年1月26日(金)に、千葉方面にバスハイクに行ってきました。気持ちの良い初春の風を満喫してきました。館山道を通って、館山いちごセンターでいちご狩りをして、立派なもぎたていちごを食べました。保田漁港で、鯨の竜田揚げ、アジフライ、お刺身と豪華な昼食を食べました。

最後は、ザ・フィッシュでお土産を買い満足して帰路につきました。



○利用者の皆さんの感想

- ・バスの雰囲気よかった。景色を見ることが出来た。街並みがきれいだった。
- ・いちご狩りをしたのが初めてだった。いちごをとって食べて、おいしかった。
- ・いちごをとるのが楽しかった。練乳を付けて食べて甘かった。
- ・お昼は、あさりご飯がおいしかった。
- ・ばんやで食べた、クジラの竜田揚げとアジのからあげがおいしかった。
- ・海ほたるの展望台は寒かったけど、眺めがよくて、海がきれいだった。
- ・お土産は、落花生せんべいだった。お母さんがおいしいと言ってくれた。
- ・ピワカスタードをお土産に買って来た。皆、おいしいと言って食べた。

バスハイク:もぎたてのさくらんぼ

令和6年6月5日（水）に、山梨県のさすなか中込農園に、さくらんぼ狩りに行ってきました。

首都高から中央道を通り、途中の御坂農園でほうとうの昼食をとり、バスの車窓から富士山を見るなど山梨を楽しんでまいりました。さすなか中込農園では、おいしいさくらんぼをとってほおばりました。さくらんぼの木も何種類もあって、いろいろな味を楽しむことが出来ました。



○利用者の皆さんの感想

- ・ほうとうやさくらんぼなどたくさん食べることが出来て、仕事をがんばれそう。
- ・ほうとうをみんなで一緒に食べたので、おいしかった。
- ・さくらんぼがおいしくて43個も食べた。甘い酸っぱいのいろいろとあって、おいしく食べることが出来た。
- ・バスから見えた富士山が素晴らしかった。ブルーになっているところがあった。
- ・さくらんぼのお土産を買ってきて、みんなで食べた。みんな喜んでくれた。
- ・ほうとうと信玄餅をお土産に買って来た。家の人喜んで。
- ・よかった。ちっちゃい時にいったのを思い出した。

令和6年度 青松の会 総会が開かれました

令和6年6月28日に、青松の会の令和6年度総会が、おおぞらで開催されました。今年度は、目黒区健康福祉部障害施策推進課長 櫻庭可奈子様 にご来賓として参加いただきました。

令和5年度の事業報告、令和5年度決算報告・監査報告、令和6年度の事業計画、令和6年度の予算について報告があり、承認されました。理事及び監事につきましては、昨年度と同じメンバーが再任されるとともに、丸山岳彦理事 が新たに選任されました。

また、その後の理事会において、飯尾堯彦理事長と田中伸治副理事長が再度選任されましたことを、ご報告させていただきます。引き続き、全員で青松の会を支えていきます、どうぞよろしくお願いいたします。

○目黒区長 青木英二様より総会にメッセージをいただきました。感謝申し上げます。

日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

区は、令和6年度から令和8年度を計画期間とする、新たな「目黒区障害者計画」を令和6年3月に策定いたしました。本計画では、基本理念として、「誰もが自分らしく輝きながら共に暮らせる社会の実現」を掲げています。これは、貴法人の設置目的にある「障害のある人々に対して、企業からの受注や自主製品の生産作業を行う日中活動の場を提供する」ことや、「作業を通じて地域社会の中での自立、又は就労を目指した社会参加が出来るよう支援する」ことに通じるものと考えております。

また、青松の会の皆様には、就労継続支援B型作業所の運営のほか、令和6年4月からは、グループホーム「ねむの木寮」の運営を別法人から引き継ぐ形で開始していただいております。改めて、飯尾堯彦理事長をはじめ、皆様の地域に根差した活動に敬意を表します。

障害福祉の充実は、行政だけでできるものではありません。障害の有無にかかわらず、誰もが安心して地域で暮らしていくことができるよう、区といたしましても力を尽くしてまいります。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご発展を心より祈念いたします。



【 おおぞら製品紹介 】



自主製品

- 《 ステンシルによる布巾、ハンカチの製作 》 《 エコバッグ（しぼり染め・ステンシル） 》
《 ビーズワーク（ストラップ・ネックレス・プレスレット等） 》 《 干支飾り 》
《 木工加工（キーホルダー・クリスマスツリー等） 》 《 毛製品（ハンドモップ） 》
《 紙製品（一筆せん、絵葉書、カレンダー） 》 《 食品加工（各種ジャム） 》 《 布製品 》



企業名やご希望のデザインも、ご相談ください。個人・企業受注承ります。お問い合わせください。

ホームページ

<http://www.seishonokai.or.jp/>

又は、「青松の会」で「検索」してご覧下さい。

《 青松の会おおぞら職員 》

- 〈施設長〉 圓山賢吾 〈副施設長・サービス管理責任者〉 熊谷重信
〈主任〉 前田友江 〈支援員〉 石原道・加藤由香里・青木紀子
戸澤道子・綱本敦子・松田淳・大野友理
〈事務担当〉 伴 博司

特定非営利活動法人 青松の会おおぞら

〒152-0001 東京都目黒区中央町2-32-13

TEL : 03-3710-2531

FAX : 03-3710-2540

E-mail : oozora@seishonokai.or.jp

発行人 圓山 賢吾